

# Legacy® Select (セレクト) 音響反射板



## 用途

- ◇ 現在天井音響反射板を使っている施設で、正面音響反射板と側面音響反射板を必要としている施設に最適です。
- ◇ 曲面になったパネルが、サウンドの反射と拡散を最適にミックスしてくれます。
- ◇ 演奏会の開催場所に持って行って少人数で設営可能なため、ステージ上だけでなくロビー等で使うことができます。

## 演奏での要求事項に応える

- ◇ レガシー移動式音響反射板を使うことで演奏者間のアンサンブルがとりやすくなり、聴衆への音響放射量が増加します。
- ◇ 広い範囲をカバーするために見栄えよくレガシーの枚数を増やすことができます。
- ◇ モジュール方式のため、演奏規模によって自由に設置枚数を変えることができます。

## 構造

- ◇ 全てのパネルはペーパーハニカムをハードボードで挟み込んでおり、1 1/2 (25.4 ミリ) 厚でアンサンブルを取りやすくする湾曲した形状になっています。
- ◇ ペーパーハニカムを使用したことにより、11 1/2 高の製品が 226 kg、16 1/2 高の製品が 305 kg となります。
- ◇ 転倒防止用のカウンターウェイトをベースシステムに搭載しています。
- ◇ タワーの高さは、11 1/2 (3,353 ミリ) から 16 1/2 (4,877 ミリ) まで 1 1/2 (306 ミリ) 単位で帰ることができます。
- ◇ パネルはタワー形状をしており、5 1/2 (1,522 ミリ) 幅となっています。
- ◇ 仕上げは塗装またはラミネート貼り付けになります。

塗装  
ラミネート貼り付け



Sherwin William 社の塗装色見本による

Wilsonart 社のラミネート見本による



## 設置手順



- 移動式音響反射板を設置位置に置く。
- ガスダンパーの力を借りてパネルを押し上げる。
- 押し上げ棒を使ってトップパネルが垂直になるようにする。
- フィラーパネルをタワーパネル後面から取り外し、前面の定位置に取り付ける。
- トップパネルとミドルパネルをファスナーを使って締め付ける。

## 音響反射板の収納

◇ 全てを折り畳んで収納形状にした場合、864 ㎜幅×2,032 ㎜高のドアを通ることができます。



アッパーパネルをしっかりと演奏ポジションにラッチで締め付ける

フィラーパネルを体裁よくタワーの後方にしまう

ガスダンパーを使って軽々と簡単にアッパーパネルを上げることができる

収納スペースを取らないよう、重ね合わせてしまうことができる。

◇ ユニットの重ね合わせて収納できるため、収納面積を取りません。

◇ 障害物を乗り越えることができる大型キャスターが付いていますので、移動が簡単です。



予告なく仕様変更をすることがあります。1207

仕様書

